

## “全国制覇”

この思いを胸に、日々

辛い練習を重ねた少女たちは、町技であるソフトボールでは佐呂間町初の全国大会出場という快挙を成し遂げた。

他の全国大会出場校とはちがひ、部員のほとんどが中学校からソフトボールを始めた初心者だらけのチーム。入部当初、ルールもわからずキャッチボールもうまくできなかった。監督に怒られても、その意味さえわからず、ただがむしやりに練習を続けた。上手くなりたい、勝ちたい、一球一球を大切に思いを込めて…

7月9日、地区大会。初戦の相手は、昨年新チーム最初の公式戦で敗れた北見高栄中学校。

### 準備の無い者に チャンスは無い

北海道の屋外スポーツチームは、冬の間は雪のため実践練習ができない。体力トレーニングや、メンタルトレーニングなどが主な練習となる。これをハンデとするか、基礎を固めるチャンスとするかはチームの意識の高さが問われるところだ。基礎がしっかりできるからこそ、実践練習で応用ができる。夏の間、どれだけ実践練習に重点をお



# 笑顔を力に

佐呂間中学校ソフトボール部全国大会出場への道程

けるか。そこが重要になるため、雪の降る地域の強いチームほど冬の基礎練習を大切にしている。冬の間どれだけ自分に厳しくしていたかで、実践練習での成長に差がでるからだ。しかし、基礎練習は単調で、体力的にも精神的にも辛い。泣きながら続けた筋力トレーニング。毎日欠かさなかった素振り。目標のための辛い準備をした冬を越え、佐中ソフト部は大きく成長していた。

高栄中学校戦。初回に先制するも追いつかれ、同点で迎えた3回、3番澤田の出塁を皮切りに、この回に3つの盗塁を決め、足を絡めた攻撃で4点を挙げた。続く4回にも3点、5回に1点を追加し、9対2の5回コールドゲームで勝利。相手のエラーにも助けられたが、準備の無い者にチャンスは無い。確実にチャンスを活かし勝利したチームは、準決勝訓子府中を6対3、決勝では北見北中に17対0で大勝。全国大会出場を決め、目標に一步近づいた。

### 努力に勝る ものは無し

2年間遠のいていた全道大会出場にチームは浮かれなかった。目標は“全国制覇”。まだ一歩踏み出したに過ぎない。全道大会出場校には、小学校からソフトボールを始めている選手も少な

くない。札幌や苫小牧、小樽、釧路、名寄、帯広など他の地域には小学生ソフトボールチームがあり、経験の差が既にある。スポーツに限らず、経験は勝負を大きく左右する。初心者から始まるチームにとって、この差を埋めることは容易ではない。何倍もの練習を重ね、短い期間で試合を数多くこなす必要がある。チームはひたすら練習に励んだ。

7月30日、全道大会初戦。相手は鳥取西中学校。釧路地区代表校だ。

1回表相手の攻撃を0点に抑えると、裏の攻撃で2アウトから2塁打を含む3安打2四球で4点を先制。3回にはさらに5点を追加し、経験の差を努力で補い、全力を尽くしたチームは全道初戦をコールドゲームで勝利した。勢いに乗り、2回戦で空知地区代表江陵中をまたもコールドゲームで破り準決勝へコマを進めた。全国大会への出場枠は2校。準決勝を勝利すると全国大会出場が決まる大一番の勝負。相手は苫小牧の沼ノ端中。前の試合、何度も勝ち越しを許しながらも、必ず追いつきタイプブレイカー（延長戦）でサヨナラ勝ちをした粘り強いチームだ。

1回表、佐中は得意の先制攻撃で4点を挙げたが、裏の攻撃で1点を返され2回以降、点の取り合いとなった。じわりじわりと点を重ねる沼ノ端に對



し、佐中も負けじと点を取りつづけ、4点差を守りきり9対5で見事に勝利。全国大会出場を決めた。試合後の挨拶を終えると嬉しさがこみ上げてきた。涙が出るほど嬉しかった。だが、選手たちは優勝での全国出場を目指していた。まだ決勝がある。また一歩目標に近づいただけ。選手たちは嬉しさもありながら、落ち着いていた。

迎えた決勝戦。相手は札幌代表北都中学校。目指すは優勝。相手投手の立上りを攻め、4点を先制したが、すぐに2点を返される。続く2回、点差を広げたいが0点に抑えられ、リズムを守りにつなげることができなかった。5失点で逆転されると、5回にも5点を許し、1点を返したが5対12、コールドゲームで敗れてしまった。しかし、準優勝という佐中の過去最高の成績を残したチームは、管内代表では26年ぶりとなる全国大会へと気持ちを切り替え、努力を惜しまなかった。

### 笑顔を力に 一投一打一球一心

全国大会の開催地は京都府宇治市。30度以上は当たり前、更に湿度も高く暑さが厳しい。選手たちみんなが辛かったという練習が暑さ対策だった。佐呂間でも湿度が高く暑い日が続いた8月



中旬。取材に行った私は、カメラを持っていてだけでも汗をかいていた。そんな気温の中選手たちは、長袖長ズボンの練習着に、プレージャンパーを着ての練習。歯をくいしばり、顔を真っ赤にして、泣きながらも動きつづける。ここで逃げたら後悔する。目標のために今ここで諦めることはしない。一つのプレーを大切に。そんな思いが伝わってきた。技術は身に付けることができるが、選手全員の心の中「芯」をぶらさず、まとまり続けることは簡単ではない。全国制覇。夢をみてもいい。夢の方向が揃えばチームは大きく前進する。そこからはじまる。何度か取材をするうちに、全国へ出場するチームの持つ雰囲気はこういうものなのかと感じていた。

8月18日、全国大会一回戦、山形代表赤湯中と対戦した。0対0で迎えた二回裏、赤湯中の攻撃。四球と安打で出塁したランナーを送りバントで進められ、内野ゴロの間に先制を許したが、後続を断ち1失点に抑えた。3回、佐中は6番大西が出塁し3塁まで進むが、得点につなげることができず、裏の攻撃で1点を失ってしまった。その後も、佐中は毎回出塁するも相手投手の好投と堅い守りに反撃をたたれ、0対7で敗れてしまった。



敗れはしたものの、選手たちは「どんなに苦しい場面でも笑顔でプレーすることができた。」「最後まで諦めることなく勝利を信じて戦うことができた。」「みんなが笑顔でプレーできた。」と話してくれた。笑顔で試合ができるのは、泣くほど辛い練習をしてきたから。最後まで諦めず、勝利を信じられるのは、チームが目標に向かって一つになっていたからではないだろうか。

佐中ソフト部は3年生が引退し、残るメンバーは2年生5人、1年生4人の9人。また初心者だらけのチームに戻り、人数もギリギリとなる。しかし、全国大会という大きな経験を積んだみんなが一つになったときにだけ得られる最高の喜びを知った彼女たちは、今度は、私たちにどんな笑顔を見せてくれるのだろうか。貴重な経験を活かし、更なる努力を惜しまず、再び全国制覇に向けて新チームは走りだす。3年生が試合で見せた笑顔、応援してくれる人たちの笑顔を力にかえて。

(主) 子果美巳 璃乃琴仁 璃乃琴仁 千朱 璃乃琴仁 千朱 璃乃琴仁 千朱  
 吉小住南畑池大齊澤住佐田畑山口谷  
 住小住南畑池大齊澤住佐田畑山口谷  
 3年 住小住南畑池大齊澤住佐田畑山口谷  
 2年 住小住南畑池大齊澤住佐田畑山口谷  
 1年 住小住南畑池大齊澤住佐田畑山口谷  
 監督 住小住南畑池大齊澤住佐田畑山口谷

試合結果

■地区大会

一回戦

対北見高栄中 9対2

準決勝

対訓子府中 6対3

決勝戦

対北見北中 17対0

■全道大会

一回戦

対鳥取西中(釧路) 9対1

二回戦

対江陵中(滝川) 14対4

準決勝

対沼ノ端中(苫小牧) 9対5

決勝戦

対北都中(札幌) 5対12

■全国大会

一回戦

対赤湯中(山形) 0対7

写真提供

佐呂間中学校

澤田 浩也

# Town Topics

## まちの話題

話題・出来事など皆さんからの  
情報をお待ちしています。  
町民課 住民活動係  
Tel 2・1213

平成 23 年 4 月 29 日付けで、共立在住の太田米藏氏が  
本年の叙勲を受章されました。太田氏は、昭和 30 年  
から平成 12 年まで国勢調査の調査員、昭和 35 年から平成  
12 年まで農（林）業センサス調査員、昭和 29 年から平  
成 11 年まで北海道農業基本調査に従事されました。延  
べ 45 年間の永きにわたり各種統計調査に尽くされた功  
績により、瑞宝単光章の受章となりました。

叙勲は、8 月 11 日役場応接室においてオホーツク総  
合振興局地域政策部長から太田氏に伝達されました。



### 永年の功績を称えて

『太田米藏氏 瑞宝単光章～統計調査功労』



### 食と農を考える

『みんなのよい食 JA 親善大使』



8 月 7 日、JA 北海道グループ主催のみんなのよい食プ  
ロジェクト、よい食親善大使として、コンサドーレ札幌  
の選手 2 名とコーチ 1 名が本町を訪れ、子どもたちと一  
緒に食について学びました。子どもたちは、バター作りや、  
プロから教えてもらえるサッカー教室の後、自分で作っ  
たお弁当を「食」について考えながら美味しく食べました。

## セーフティロード サロマ

毎月 1 日は佐呂間交通安全の日  
15 日は道民交通安全の日

- ▼STOP ザ交通事故  
シートベルト  
車に乗ったら  
必ず
- ▼交通事故発生状況  
若佐小学校 3 年 太田 樹  
(平成 23 年 7 月末)  
発生 6 件 (±0 件)  
死亡 0 人 (±1 人)  
傷者 6 人 (±0 人)  
( ) 内は前年比
- ▼交通安全事故ゼロ運動  
発生件数は人身事故の件数  
4800 日 (8 / 23 現在)



デイライト運動通年展開中  
昼間点灯で交通事故減少の効果！  
皆さんもぜひ参加してください。

### 使ってますか？

「夜光反射材」



夜光反射材無料配布しています。

暑さも和らぎ、気持ちよく外で  
ウォーキングや、ランニングができ  
る季節になってきました。夜間の  
ウォーキングをされている方も多い  
のではないのでしょうか。涼しくなる  
につれ、暗くなる時間も早くなって  
きています。特に、夜間はもちろん、  
夕方や早朝の薄暗い時間は運転手か  
ら歩行者が見えにくくなります。自  
分の存在を知らせるために、明るい  
服装と併せて、夜光反射材を着用す  
るよう心がけましょう。佐呂間町交  
通安全対策本部では、様々な種類の  
夜光反射材を無料で配布しています。  
個人でも団体でも無料で配布しま  
すので役場町民課 (Tel 2・1213)  
へお越しください。